

助川太郎 + 尾尻雅弘

guitar guitar

11月03日(祝火)

開場 16:30

開演 17:00~

(2ステージ入替なし 途中入場可)

MC 2,500円 + 2drink order

CAFE **B**EULMANS

お問い合わせ: info.cafebeulmans@gmail.com

TEL: 03-3484-0047

世田谷区成城6-16-5 カロザ成城2F

イベント日以外 営業時間

cafe time 15:00 -

bar time 19:00 -

火曜日・日曜日定休 イベント日以外

メールでのご予約の場合、必ず当日ご連絡がとれる電話番号をご記載ください。



助川太郎 guitar

尾尻雅弘 guitar

1973年東京生まれ。2001年米ボストン、バークリー音楽大学 ギター科卒業。ブラジル音楽を中心に、ジャズのバックグラウンド、尾尻雅弘氏に師事したクラシックギターの要素、エフェクターや特殊奏法を多様化したサウンドデザイン等、様々な要素が混然一体となっている演奏家である。ギター、口琴、エフェクターを併用した三位一体の演奏で、音楽シーンに全く新しい世界観を発信し続けている。ヴォーカリスト EMiKO VOiCEとのデュオで結成したブラジル音楽ユニット「メロコロン」では2003年より活動。現在までに5枚のアルバムを発表している。2013年、ソロギタリストとしての活動をスタート。ギター1本の完全独奏によるアルバム "This is guitarist" を発表し、diskunion ジャズチャートで初登場一位を獲得。「レコード芸術」「現代ギター」「ラティーナ」「CDジャーナル」などの音楽誌、各種メディアに取り上げられ反響を呼ぶ。現在はソロギターでの全国ツアーの他、ジャズ、クラシック、ブラジル音楽、タンゴ、民族音楽、芝居の舞台音楽など幅広いフィールドで演奏活動を展開中である。

東京生まれ。1981年米国バークリー音楽大学に入学。在学中700余名のギター生徒の中から最も優秀な一人に与えられるハリス・スタントン賞を受賞。卒業後、マンハッタン音楽学校にてマヌエル・バルエコ氏に師事。在学中、第28回パリ国際ギターコンクールにて第3位、1988年アントレス・セゴビア賞を受賞し卒業。1992年日本フィルハーモニー交響楽団との『アランフェス協奏曲』で日本デビュー、以後日本へ活動の拠点を移し、朝日新聞文化財団助成公演に選ばれ、津田ホールにて5回にわたる連続演奏会『尾尻雅弘ギターサイクル 1994~1995』を開催。その後ソロ・室内楽・編曲そして楽譜の出版等幅広く活躍。現代曲の演奏には定評があり、初演も多く手がける。2003年11月には、メキシコで行われたアメリカ大陸最大級のギター・フェスティバル (Guitar Foundation of America) の客演として招かれた。また、2007年5月、軽井沢・大賀ホールにて20年ぶりの共演となるジャズ・ピアニスト小曾根真とのデュオ・コンサートを行なう。2014年1月最新CD「ソロ・ギター・アドヴェンチャー JAZZ」をリリース。Jazz演奏再開への第一歩を辿る。